

G10「セイフティキャンプwith日本雪崩ネットワーク」要項

- 1 目的 雪崩への理解を深め、行動マネジメントによって雪崩リスクを軽減する
 - ・滑走者コース・登山者コースに分かれて講習します
 - ・事前のe-learningもプログラムとして組み込まれています

- 2 期 日 **2022(令和4)年 3月5日(土)～6日(日)** 1泊2日

- 3 集合場所 **長野県山岳総合センター**【長野県大町市大町8056-1 TEL0261-22-2773】
時間 3月5日(土) 8:45 (集合)

- 4 受講対象 満18歳以上 ※講習会全日程を受講可能なこと
募集人数 ○滑走者コース 8名(経験のレベル・体力は問いませんが、フィールドでの活動を
経験されてからの受講が効果的)
○登山者コース 8名(雪山登山経験者)
※先着順で受け付けます。

- 5 講習料金 **25,000円**(傷害保険料込み) *現地集合、現地解散 講習中の移動は各自
※ 指定口座への入金振込をもって申込受付とします。HPからの申込と同時に下記指定
口座への入金をお願いします。(なお、お振込みの際は振込手数料のご負担願います)
八十二(はちじゅうに)銀行(銀行コード0143) 大町支店(店番号485)
普通口座847312(名義:一般社団法人長野県山岳協会事業管理)
(カタカナ:ケンサンガクキョウカイジギョウカンリ)
※ 宿泊費、交通費(スキー場ゴンドラ代等も)は含みません。
※ 現地集合、現地解散です。
※ 宿泊先の手配は各自でお願いします。
★ 5日(土)に山岳総合センターに宿泊を希望される方は、別途1,800円要
食事・風呂無し、食堂にて飲食可(冷蔵庫、電子レンジあり)
※ 宿泊希望の方は事前にお申し込みが必要です

6 スケジュール(気象条件等により変更になることがあります)

1日目【3月5日(土)】机上講習が中心となります

- ・ 8:45 集合(長野県山岳総合センター)
- ・ 9:00 雪崩現象・雪崩地形・山岳の積雪
積雪の不安定性
- ・ 12:00 昼食
- ・ 13:00 捜索救助・状況認知・雪崩情報
リスク軽減行動
事例・計画の立案
積雪観察等(フィールド)
- ・ 17:30 理解度チェック/翌日の説明
- ・ 18:30 1日目終了



2日目【3月6日（日）】フィールド上での講習となります（移動は各自）

- ・ 8:00 梅池高原スキー場 ゴンドラ乗り場集合 フィールド（梅池高原）へ
フィールド気象観測、行動判断、
グループマネジメント、レスキューシナリオ
- ・ 15:00 下山
- ・ 16:00 座学会場（ウイング21 長野県北安曇郡白馬村北城2066
<https://goo.gl/maps/1U5XPAuYiwF9dz957>）に集合、まとめ
- ・ 17:00 解散

7 内容・特徴

雪崩安全対策に係る雪上での2日間の基礎講習会です。実際にフィールドを移動しながら雪崩地形の識別やグループマネジメントの方法、不安定な積雪状態の把握、そして搜索救助の訓練などを行います。一般ユーザーが「可能なこと」「必要なこと」「重要なこと」などが体系的に整理されている標準化されたプログラムです。また、JAN（日本雪崩ネットワーク）が発表している雪崩情報の利用の仕方についても丁寧に説明致します。

講習効果を上げるため、事前のe-learningもプログラムとして組み込まれています。

8 装備

1日目は入山しません。しかし、午後は戸外で搜索訓練をしますので雪上で活動できる服装が必要です。

2日目は、フィールドでの講習となります。通常の雪山日帰り装備の服装、行動食などが必要です。ビーコン・プローブ・ショベルは必携です。

コース別装備

【滑走者コース】 山スキー一式（歩行機能がある金具、シールなど、山スキーができる装備をご用意下さい）

※スノーボードの方はスノーシューなど、雪上で歩行ができる装備品もご用意願います。

【登山者コース】 登山靴・ワカンまたはスノーシュー・ストック

両コース共通の装備

- 雪崩ビーコン
- プローブ（240～300cm程度のもの）
- ショベル
- 斜度計（スマホアプリでも可能）
- スノーソー（積雪観察のためのピット（穴）を掘るのに使います）
- テキスト（増補改訂版『～山岳ユーザーのための～雪崩リスク軽減の手引き』
発行：東京新聞）
- ザック（35～50リットル程度 余裕を持って装備が入るもの）
- アウターシェル・オーバーパンツ（ゴアテックスなどの防水透湿素材をお勧めします）
- 冬山ウェア一式（アンダーウェア上下 中間着など）
- ソックス（程よい厚みで保温性の高いもの 冬は予備も必要です）

- 手袋（冬用でゴアテックスなどの防水透湿素材をお勧めします）
 - 帽子・目出帽（目出帽は必携 ネットウォーマーもあると便利）
 - 防寒着
 - テルモス
 - 1日目 昼食 ・ 2日目 行動食
 - ヘッドランプ（電池残量はしっかりと確認し、予備電池も携帯のこと）
 - ゴーグル/サングラス（強風時はゴーグル、雪上では雪盲予防のためのサングラス）
 - 雪焼け止め
 - 予備の手袋、帽子、ゴーグル
 - コロナ感染予防品（マスク、アルコールジェルや除菌シート、密閉できるビニール袋）
 - その他（筆記具、持病薬、保険証、着替え等）
- ※両コースともピッケル、アイゼンは不要です。

9 COVID-19への対応

受講生と講師の健康および安全はJANにとって重要事項です。よって、政府の基本対処方針を参照しつつ、COVID-19の感染を減少させるための工夫をコース運営において実施します。なお、国内におけるCOVID-19の感染状況を鑑み、コースをキャンセルする可能性があることもご理解ください。この場合、e-learningの代金（5,000円）を差し引いた金額が返金されます。

10 その他

- (1) 事前のe-learningプログラムにつきましては、PCでも、スマホでも利用可能なシステムを使います。簡単な設問などがありますので、雪上講習日までにそれらをすべて終えるようにしてください。講習日の一ヶ月前にアクセスURLをメールでお送りします。
- (2) 受講を取り消す場合は、すみやかに連絡をして下さい。取り消す際、e-learning開始後は、e-learningの代金(5,000円)を差し引いた金額が返金されます。
e-learningの代金とは別に、開始日の前日からさかのぼって7日前～2日前：（講習料金25,000円からe-learningの代金5,000円を差し引いた）20,000円の30%、前日：同50%、当日：同100%のキャンセル料が発生します。受講取り消し者へ返金する際は、上記の金額及び振込手数料を差し引いた金額を返金します。
- (3) 天候等により、日程や場所等を変更する場合があります。
- (4) 長野県山岳総合センターへ車でお越しの方は、大町市霊園駐車場へ手前からつめて停めてください。センターおよび隣の山岳博物館駐車場に停めないようにお願いします。
尚、駐車場から山岳総合センターまでは、歩いて7分ほどかかります。
1日目、スキー等の滑走用具は不要ですので、お車に置いておいていただいて結構です。ビーコン、プローブ、ショベルとバックパックは訓練で使用しますのでお持ちください。

講習についてのお問い合わせは *当日も含め、ご連絡はこちらまで

★長野県山岳総合センター

〒398-0002 長野県大町市大町8056-1

【電話】 (0261) 22-2773

【ホームページ】 <http://www.sangakusogocenter.com/>

【E-mail】 info@sangakusogocenter.com